

■タイ：再エネ開発計画を見直し

国家エネルギー政策委員会（NEPC：National Energy Policy Council）は2011年12月1日、代替エネルギー開発・効率化局（DEDE：Department of Alternative Energy Development and Efficiency）と共同で再生可能エネルギー開発計画（REDP：Renewable Energy Development Plan）を見直したと発表した。現計画では、2022年までに最終エネルギー消費量に占める再エネの割合を20.3%にするとされていたが、新しい計画ではそれが25%になる。エネルギー別では、太陽光発電200万kW（現計画50万kW）、風力発電120万kW（同60万kW）、バイオマス発電363万kW（同60万kW）、ゴミ発電16万kW（同13.5万kW）を開発するという目標が掲げられている。同委員会の関係者は「再エネの固定買取制度が導入され、再エネ事業に参画する企業が増加しており、REDPの目標値を高めを設定した」とコメントしている。